

## 第2回 世田谷リング会議での主な意見

### <第1部>

「これまでの経過」「第1回リング会議の成果と検討課題」について

#### 敷地拡張について

- 敷地拡張により、前回の様々な要望も取り入れたかたちで更にブラッシュアップされ、良くなった。
- 新たに拡張した敷地の前面道路も含めて取り込めば、敷地をより有効活用できるのではないか。
- 敷地拡張に伴い、建物をセットバックするということが、執務に影響はないのか。将来を見据えてゆとりがあった方が良いのではないか。
- 今後も敷地を拡張する可能性はあるのか。

#### ボリューム

- 東側建物の高さをもっと低くしてほしい。世田谷総合支所を別の敷地へ移せば、建物のボリュームを減らせる。
- 今後IT化の充実により、区役所の機能は減少すると思われるので、機能、規模の再検討が必要である。

#### 東1期棟（10階建て）について

- 庁舎にシンボル性があるといい。10階建ての部分は、実際に歩いてくるときには、3階か4階程度までしか目に入らず、上層部はほとんど感じないということになる。
- 10階建ての部分はすわりが悪い印象がある。壁面を少し後退するなどもう少し工夫してほしい。
- 議会機能は区民が訪れやすくなるように、西棟の低層部分へ移すべきである。

#### ユニバーサルデザイン

- 車いす利用者がエレベーターを使わずに2階テラスへ上がることができる方法が必要である。
- 停電時にエレベーターが使えなくなることに備えて、西側アプローチの大きな階段のそばにもスロープをつけてほしいが、5mの高さに対して80m程度の長さのスロープになるため、有効であるかは悩ましい。

#### 災害時の安全性

- I類相当である免震構造の庁舎と非免震構造である区民会館において、災害時に建物の損傷の程度に違いが生じた際に、庁舎全体の一体的な利用に支障が出るおそれ

があることから、災害時の機能の連続性を考えると区民会館はⅠ類に改修した方が  
良い。

- 東1期棟（免震構造）と区民会館（非免震構造）の接合部は、接合する部分が大  
きいので、安全性に問題ないのか確認したい。

#### 空間特質の継承・発展

- ケヤキ並木の延長や154号線からのアプローチといった空間特質の継承と創造  
的な発展について評価できる。
- 建物がセットバックすることで天空の広がりを感じるかもしれないが、テラスがあ  
ることによって広場を狭く感じさせる印象があるため、広場の空間特質については  
さらに発展させてほしい。
- 区民会館を道路から直接入ることのできる独立した建物とし、「前川ホール」「前川  
コンサートホール」「前川記念ホール」などの名称として、世田谷区のアイコンに  
したい。
- 区民会館の既存テラスを活用し、新設するリングテラスと接続させたい。接続  
部分はスロープにするようにしてほしい。

#### 会議の運営について

- 会議の回数が少なく十分な議論ができない。もっと増やすべきである。

#### <第2部>

「本庁舎等を区民目線で使いこなす」をテーマとしたグループディスカッション

#### 【A班】

- 行政課題の解決やスタートアップ支援のために、ワンストップサービスとして、話  
を聞いて案内してくれるコーディネーターやコンシェルジュを配置してはどうか。  
コーディネーター等は必ずしも区職員でなくてもよいのではないかな。
- 子どものコンシェルジュが常駐し、例えばおもちゃドクターなどがいて、子どもが  
時間を過ごしたり、技術を学ぶことができる場を設けると良いのではないかな。
- 民間施設との差別化を図り、例えば世代間の交流の場とする一方で、民間と共催で  
イベントができる場とするなど、両面から考えることによって、今までの公共とも  
民間とも違う場となるのではないかな。
- 食事や話し合いができる空間として、空きがあれば気軽に使えるイスとテーブルを  
設置し、パーテーションで区切られたコーナーを設けてはどうか。
- 福祉作業所の作品が販売されていたり、自動販売機でも良いので、お茶が飲めると  
いった、気軽に自由な雰囲気的空間を設けてはどうか。

- 前川メモリアルコーナーがあっても良いのではないか。また、前川建築やその歴史が分かるようなイベントを実施してはどうか。演出を施したうえで、レリーフを再現すると良いのではないか。
- ギャラリーや絵画展、コンサートなどができる、きれいなスペースを設けてはどうか。
- ケヤキだけでなく、サクラを植えてはどうか。
- 屋外イベントなどで庁舎を使用するのであれば、トイレなどの水回りを考える必要がある。

### 【B班】

- 区役所を普段素通りする人や、あまり来ることのない人の目線も考えることが大事である。
- 全区の子どもの絵画展の実施や、世田谷の歴史を学ぶことができる学習の場の設置といった、リピーターができる仕組みをつくる必要がある。
- 賞味期限が切れる前の備蓄食品を料理して皆でいただく企画（サルベージパーティ）を行うことで、区役所の防災機能を知る機会となるのではないか。
- 区民会館の壁をスクリーンにしてパブリックビューイングを行う、世田谷の著名なアーティストによるライブを広場で行うなど、人がそこに行きたくする強いコンテンツがあることが大事である。
- 広場北側にある階段を利用したコンサートを行うのはどうか。
- 床全体が地図になっていて、地形も立体的に表現された場所に、区民の人がピンを打ち込み、地図上に印をつけられる参加型のスペースを設けてはどうか。
- 屋上庭園にドッグランを設置してはどうか。
- 市民活動のスペースとして、50人以上規模などの大きなスペースが少ないので、確実に使えるスペースがあると良い。料金がある程度高くても、質の高い空間を設けるというのはどうか。
- 小さなスペースについては、例えば、会議や活動をしている様子が外から見えるなど、さまざまなスペースがあると良いのではないか。
- 市民活動スペースの利用日や利用時間に関しては、土日でも使えることが大事である。

### 【C班】

- 全体を統一するイメージとして、花がいっぱいで憩いを感じられる、至る所に花が植えられているような庁舎になると良い。
- 屋上緑化した空間でゆっくりと休むことができると良い。
- 現在の東側のケヤキ並木については、国士舘大学の方まで延長し、街全体を並木でつないでいくことも大事ではないか。

- 建物の中と外を一体的に使いたい、あるいは半屋外空間を活用しながら中と外を結び付けたいという趣旨で、例えば、水辺が外から建物内を通り、また外へと抜けていく設えをして、中と外をつなぐのはどうか。
- ピロティと交流機能、広場と交流機能も、すべて中と外が一緒に使える設えがあると良いのではないか。
- 広場の中央に立った時に、リングテラスによって建物が同じような表情を与え、一体感がもたらされることに期待している。
- リングのエッジの部分に、第一庁舎の壁面をかたどったようなエッジをつくることできると、記憶の継承につながるのではないか。
- 至る所で小さなミーティングができる場所があると良い。例えば、リングテラスに閉庁時に庁舎に入らずに使えるカプセルのようなミーティングルームがあると良いのではないか。
- 広場には現在と同じようにテーブルとベンチを点々と置き、どこでも休める場所があると良い。
- 広場はフラットな空間とすることで、さまざまな使い方が可能になる。
- 西側アプローチの高低差を解消するために、動く歩道を設置できないか。
- 新たに拡張した敷地にらせんスライダーを設置して、西棟2階から地上へ降りられるようにしてはどうか。
- 展望ラウンジを「富士見の展望ラウンジ」と名付けてはどうか。また、西3期棟に富士山が見える「富士見テラス」を設置するのはどうか。
- 区民会館ホールは多目的に活用する（講演、音楽、演劇など）。音楽については、第九などのオーケストラも演奏ができると良い。